

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年3月2日				
ある まつりかフラワー						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	3		・中心に事務所があるため児童を把握する際少し大変と感じる。 ・車いすの児童が活動スペースを移動する際狭い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	4	・スキルアップ出来るよう会議、昼礼等活用している。	・人数は多いが、支援に関して1人1人のスキルアップが必要。 ・人数=支援出来る人数ではないと感じる為今後のスキルアップが課題と感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	4		・中心に事務所があったり、一部段差があるのでスムーズに動けるよう改善、工夫していくよう努力する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日清掃し清潔に保てるよう保持しています。 児童にとっては広いスペースになっています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	・個室はないので活動スペースを区切って対応している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	会議、昼礼等を利用し職員で話し合い振り返りを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	保護者様からの意向等を把握させていただき全職員で把握できるよう昼礼で共有しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		・その都度話し合い出来るようにしているが足りない部分もあると感じている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・会社で定期的に研修が行っている。	・出れない事もある。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・ブログなどで活動内容を定期的に公開しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・定期的に保護者の方と面談を行いその都度ニーズの把握、共有を行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・会議・昼礼等で共有しつつでも確認できるように回覧作成全職員に共有しています。 ・会議で児童について個々の関り方や今度の支援等を話し合っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	・職員にその都度共有をする時間をつくっています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	・自社で使っているアセスメントシート活用し行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・面談時に親御様からお話を聞き本人支援、家族支援、移行支援につながるよう行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・職員で考え実行しています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・固定化しないよう日々考えながら工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		・集団活動の中では、個々の目標になっていることを組み込みながら行っている。	個別活動は時間の都合上や児童人数などで出来ない事もあるため今後も課題と感ずる。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・その日の送迎、活動等の話を昼礼を利用して行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	4	・時間があるときには少しでも振り返りするようしている。	・送迎など勤務時間ギリギリまでであるのでできない事もあり、次回の昼礼などで話すなど行い対応しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1	・その日ご利用している児童について記録を残し各職員いつでも確認できるようにしています。	・改善につなげられている事もあるが、共有の仕方が異なってしまう事もあるため課題と感ずる。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	4	・半年に一回面談を行い現在のご様子等を聞き取りながら計画の見直し等行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	1	・基本的に組み合わせながら支援していくよう心掛けています。	・地域交流等出来る限り行っているが、まだまだとも思っているため課題と感ずる。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	1	・基本的に出来ることは児童に考えてもらえるよう声かけを行っています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		・状況を理解した者が参加するようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	・面談時に親御様から聞いた病院等を把握し支援出来るように整えています。	・まだ現場で緊急事態対応を経験したことのない職員がいるため日頃よりシミュレーション等行い対応さくを考えています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1	・各学校と情報共有行い対応を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	・情報共有適所に行っている。	・なるべく多く情報共有しているが、出来ない事もあるため今後の課題と感ずている事もあります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	・出来るよう体制を整えている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	・児童館などに定期的に行かせてもらっています。	平日学校の時間にばらつきがあるためいく事が出来ない事が多くある為課題。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	・開催される際は参加するよう心掛けています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1	・帰りの送迎時等を活用させていただき少しでも共有出来るようお伝えしています。	・面談以外での共有が時間が限られてしまい課題と感ずる。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	・面談時にお伝え出来ることは行っています。	・まだまだ至らない事も多いと考えているため今後の課題と感ずる。	
保護者への説明	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	・契約時に行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		面談時に聞き取りを行い家族の意向等を聴けるようにしています。	・面談時間聞き取り切れない事もあると思うので今後も少しでも意向を聴けるよう改善していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	1	・説明を行い同意していただいています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保 護 者 へ の 説 明 等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1	・相談された際その都度お答えできるようにし、すぐにお答えできない場合は、後日お答えするようにしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	4		・現段階では開催出来ていないので今後日時等を決め行えるようにしていきたいと思います。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・もし苦情が出てしまった際迅速に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1	・定期的に活動内容などをブログにて個人情報に配慮し公開させていただいています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	1	・個人情報に関しては常に気をつけながら対応させていただきます。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	1	・配慮するように手や表情、絵カード等を活用させてもらっています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		・事業所内でスペースが無い為開催出来ていません。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	4	・会議、昼礼等を活用し職員間で共有実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	3	・定期的に訓練等実施しています。	・今後も訓練について職員の動きを明確にしていこうと思います。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		・契約時親御様と話し確認しています。	・児童が成長するにあたって、発作等の症状が確認した際今後も早急に対策、対応出来るようその都度改善していこうと思います。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	・医師の指示所はもらっていないが、親御様からの情報を元に対応、対策を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	3	・安全面に関しては職員間で常に行い、児童が安心・安全に通所出来るよう対策しています。	・いつ何時事故が起きるか分からないため、その都度危険を回避するため改善していきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	・安全を確保するため親御様と話をし対応できるようにしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	2	・再発防止の為対策等会議、その場で対応しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		・会社内での研修を毎年行い職員全員共有理解しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		・現環境で身体拘束しなくてはならない児童がいないため、今後対応する際は親御様に確認出来るよう準備はしています。		